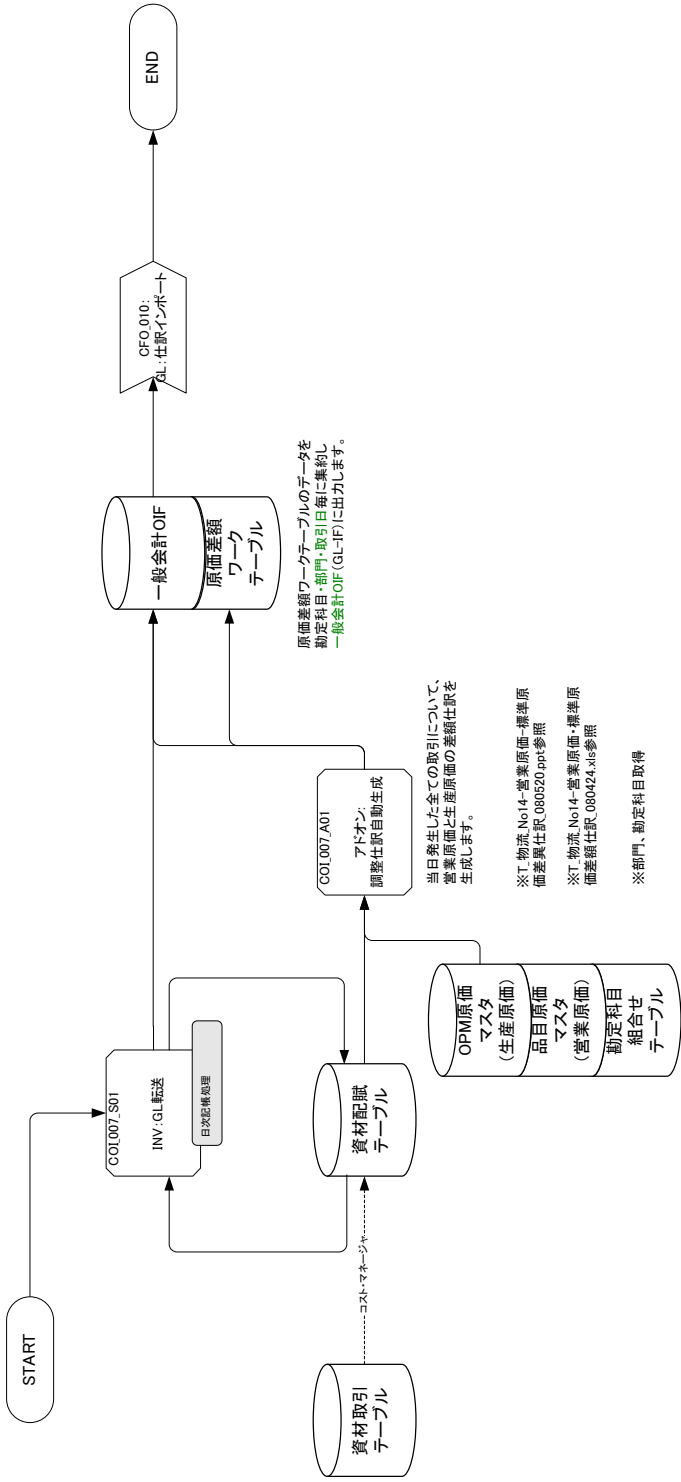


処理概要
すべての取引を営業原価で計上し、会計モジュールに連携時に営業原価と標準原価の差額仕訳を自動生成します。
システム利用者
システム連携のみ
処理タイミング、その他
夜間に1回/日実行する。
GL転送からGL仕訳インポートまで同一タイミングで実行出来る事。
コストマネージャは日中定期的に実行(10分毎)

システムプロセスフロー記入時の注意事項
・機能単位(標準機能含む)で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
・フローが複数シートになる場合、(→①) / (①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

